

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護の実際においては、常に変化し流動的であるが、問題点を把握しミーティングを行うも、口頭伝達に終始することが多く、記録する作業がうまくできない。	介護の多岐に渡る課題、問題点を把握、整理し、ミーティングでのまとめの記録を習慣化、記録することの意義、意識づけの統一を図る。	介護サービス計画書にもとづいたモニタリングシートの作成、整備。利用者家族、スタッフたち関係者による状態把握、意向の確認など行いサービス提供に活用する。	12 か月
2	35	年2回、防災自主訓練を行っているがもっぱら内部的なものであり、防災備蓄物品の点検、避難経路の確認、救助方法の学び(ビデオ利用)などが主であり、利用者の負担にならない範囲にとどまっている。	模索の段階であるが、今後地域ぐるみの防災体制が構築された場合、グループホームとして、何ができるか、可能性を探りたい。	これまでどおり年2回の防災自主訓練を実施する。	12 か月
3	49	散歩・近くのコンビニなどへの買物外出は、付添い車イス使用で比較的容易であるが、現行のふるさと訪問、通院外出、利用者の社会参加の充実をめざすには、車輛、人手(ボランティア)の不足がある。	リフト車、あるいは回転イス付専用車輛の入手により、利用者(重度)の通院外出、ふるさと訪問、社会参加への充実を図る。	事業所における経費のムダをなくし、可能なかぎり助成金等の支援を求め目標達成を図りたい。	12 か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。